

わがまち

塚戸小学校

(干蔵台・粕谷・船橋)

半世紀たった 児童疎開

3次に及ぶ疎開三三名

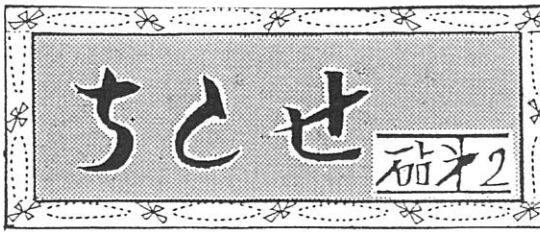
この年(昭和19年)は才
の欠大戦で日本敗色が、い
よいよ濃くなった年である。
首都東京もB29による初
空襲にみまわれ、児童の集
団疎開が方針として決めら
れた(6月)。塚戸小学校
のヤ1次疎開は、8月27日
長野県北安曇郡平村へ、引
率教師1名、児童16名(3
年5の年)で出発、木崎湖
畔の旅館に入る。

あけて20年3月22日、東
京大空襲(3月10日)直後
才2次疎開に10名が加わる。

東京は空襲が一層激しく
なり、学校の授業を閉鎖
した。このため疎開児童
も急増。塚戸小だけで長
野県南安曇郡島川村(現
堀川村)に疎開すること
に決定。

昭和20年5月9日夕刻
校庭に集合し、父母の提
灯に送られ祖師谷大蔵殿
から出発した。引率教師
6名、現地で1名加わる。
この時の児童は2年生か
らの5年生まで16名であっ
た。途中空襲にあつ事な
く無事に松本乗りかえ、
大糸南線豊科駅に到着。

5月10日昼前であった。
地元の振金国民学校所
等科の生徒の協力を得て
日本マルパノ常念庄の麓
鳥川の芳流にのみ、岩倉
集会所(船橋地区児童)
と岩倉鎮成場に木崎湖畔
開校舎と合流と落ち着く。
船橋地区児童は毎日の
食事のためおこりの山道
を徒歩20分往々(日課が
続いた)。5の年生の授業
は1時間(1時間の振金国
民学校で受けていた。食
事は、当初味噌と山菜と
いう敵しいものであった。
(塚戸小百年誌より)
(三井 勝雄)



発行：編集委員会
編集：堀江 貞雄
責任者：堀江 貞雄
事務局：砧才2出張所内
(482)0343
1986.6 №17

地域	旧投票所	新投票所
船橋1丁目 33〜48番 53〜55番	都立千歳丘高校	船橋小学校
船橋2丁目(全域)	船橋中学校	船橋小学校
船橋4丁目 21〜43番 船橋7丁目 9〜23番	都立千歳丘高校	希正小学校
船橋5丁目 1〜20番 船橋6丁目(全域)	船橋中学校	希正小学校
船橋7丁目 1〜8番 八幡山3丁目(全域)	八幡山小学校	南八幡山保育園

やはり、民主主義の
根幹である選挙ですか
ら、その重要性を認識
し、**全有権者**の投票で
今後の国政の担い手を
選出したいものです。



7月6日は
20代の投票率は60代9半分の
選挙

投票所が一部変更
投票所が一部変更
投票所が一部変更

めずらし散歩道
粕谷3丁目5番
唐木細工の巻

紫丹黒丹、飾
桐花台、盆栽台
各種と唐木細工
総称としてその
新機・修理物を
取扱っている。
店がある。静岡
県出身で昭和16
年より独立開業
し、昭和41年に
現在の粕谷3丁
目に移転した。
作業は樹脂塗
料を主に入念に塗る
という特殊なも
のであり並大抵
な苦労ではない。
しかし、マン
シタ唐木細工は
今、一軒程にな
っているのでは
ないか。主人は
後継者のいない
ことが残念であ
ると述懐した。
(遠田 敏夫)

